

WORD 実用講座

【第5回分科会のテーマ：一書式設定・図形一】

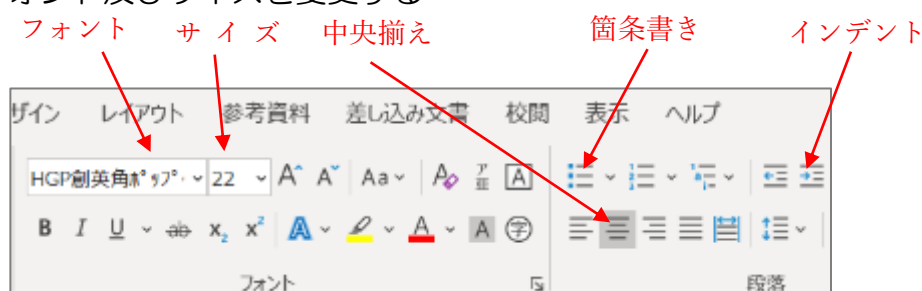
今回は、書式の設定から、図形の中に複数の図形を挿入・作成まで学習します。
※以下の作業は、添付「作成手順」を参考にしてください。

1. ページ設定
2. フォント・サイズを変更する
3. 中央揃えに変える
4. 箇条書きに設定
5. インデントを設定する
6. 図形の作成
7. 文字に効果を付ける

1. ページ設定

「レイアウト」タブー「余白」ー「やや狭い」に設定してあります。

2. フォント及びサイズを変更する



「ホーム」タブの「フォント」及び「サイズ」をクリック。

- ① タイトルの「今さらのパソコン小話」を「HGP 創英角ポップ体」、サイズ「22pt」。
- ② サブタイトルの「ソフトとアプリは違う?」を、サイズ「16pt」、太字とします。
- ③ 12行目のOS (基本ソフト)、16行目のソフト (パソコン)、26行目のアプリ (スマホのホーム画面のアイコン)の3カ所の文字列をドラッグし、サイズ「14pt」にします。「6. の図形の作成」の文字列も全て「14pt」にします

3. 中央揃えにする

1行目の「今さらのパソコン……」の行から、6行目の「※アプリケーション～」までの行を中央揃えに変える。「ホーム」タブの「中央揃え」をクリック。

4. 箇条書きに設定

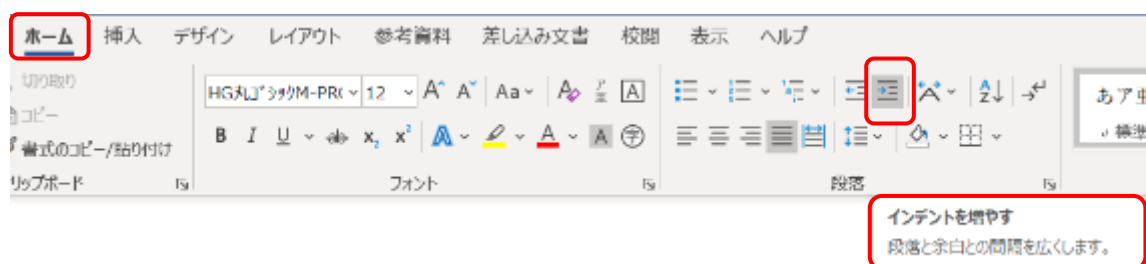
8行目の「Windows～」から、11行目の「～表現されています。」までを「箇条書き」に設定します。



8行目から、11行目までの4行全体を範囲指定して、「箇条書き」—「行頭文字のライブラリ」から選択

5. インデントを設定する

- ①作成手順のように、3カ所の「インデント」する範囲を指定して、
- ②「ホーム」タブ—「段落」—「インデントを増やす」—ここでは「2文字」なので、2回クリックする。



6. 図形の作成

図形は、5個すべて「挿入」—「図形」—「四角形:丸くする」を選択
図形 B、C、D、E、F の「塗りつぶしの色」は下記の4色を使用



「図形の書式」－「サイズ」



※1「図形」のサイズは「15」と入力しても、「14.99」のように整数とならない場合があります。

※2「図形」も、テキストと同様に文字入力ができます。テキストと違い、中央揃えになります。

※3 文字入力をすると、以下のような「白抜き」の文字になりますが、7.の項目の作業で文字に効果付けます。

ソフト

OS（基本ソフト）

図形 A 外枠

- ① 「四角形:角を丸くする」を選択して、
- ② 「図形の書式」－「サイズ」で、サイズ：高さ 100 mm、幅：100 mm

図形 B ソフト

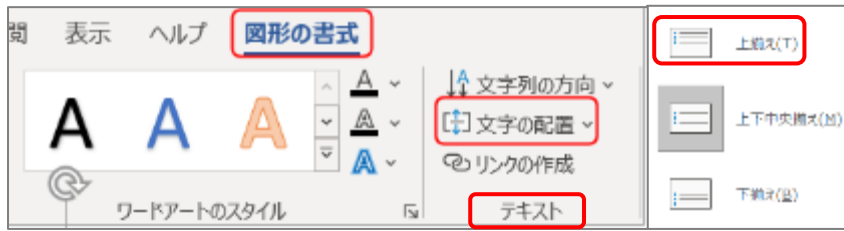
- ① 「四角形:角を丸くする」を選択して、
- ② サイズ：高さ 15 mm、幅：30 mm
- ③ 「図形の塗りつぶし」－「灰色：アクセント 3」
- ④ 文字の入力－文字を入力して－サイズ「14pt」

図形 C OS（基本ソフト）

- ① 「四角形:角を丸くする」を選択して、
- ② サイズ：高さ 30 mm、幅：50 mm
- ③ 「図形の塗りつぶし」－「緑、アクセント 5、白+基本色 40%」
- ④ 文字の入力－文字を入力して－サイズ「14pt」

図形 D アプリ（応用ソフト）

- ① 「四角形:角を丸くする」を選択して、
- ② サイズ：高さ 50 mm、幅：90 mm
- ③ 「図形の塗りつぶし」－「青、アクセント 6、白+基本色 40%」
- ④ 文字の入力－文字を入力して－サイズ「14pt」
- ⑤ 文字の配置を変更 「図形の書式」－ {テキスト} －「文字の配置」－「上揃え」



図形 E ソフト (パソコン)

- ① 「四角形:角を丸くする」を選択して、
- ② サイズ：高さ 30 mm、幅：40 mm
- ③ 「図形の塗りつぶし」—「ゴールド、アクセント 4、白+基本色 40%」
- ④ 文字の入力—文字を入力して—サイズ「14pt」、**「Enter」**で2段（2行）

図形 F アプリ (スマホ)

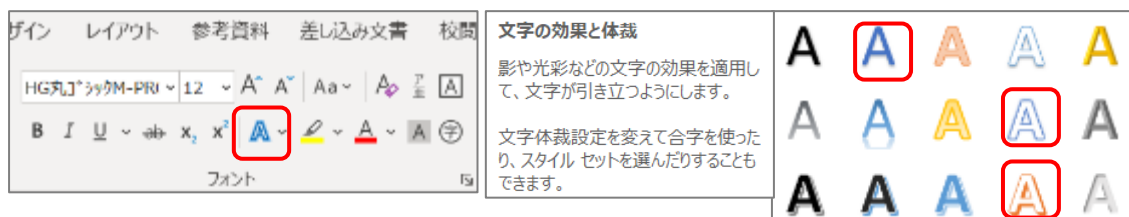
- ① 「図形 E」をコピー/貼り付けして、
- ② 「アプリ(スマホ)」の文字を入力して—サイズ「14pt」

7. 文字に効果を付ける

「OS (基本ソフト)」、ソフト (パソコン)、「アプリ (スマホのホーム画面のアイコン)」の 3カ所の文字列、および図形 C、D、E、F の中の、OS (基本ソフト) から「アプリ (スマホ)」の 4カ所の文字列に設定します。

「ホーム」—「文字の効果と体裁」—色を選択

※下記の一覧を参考に、それぞれ色を選択してください。



A	OS(基本ソフト)←
A	アプリ(応用ソフト)←
A	ソフト(パソコン)←
A	アプリ(スマホのホーム画面のアイコン)

以上で作業を終え「保存」します

以上

作成手順

① ページ設定「やや狭い」

今さらのパソコン小話

ソフトとアプリは違う？

ソフト=ソフトウェア

基本ソフト=OS (オペレーションシステム)

応用ソフト=アプリ=アプリケーションソフト

※アプリケーション=応用

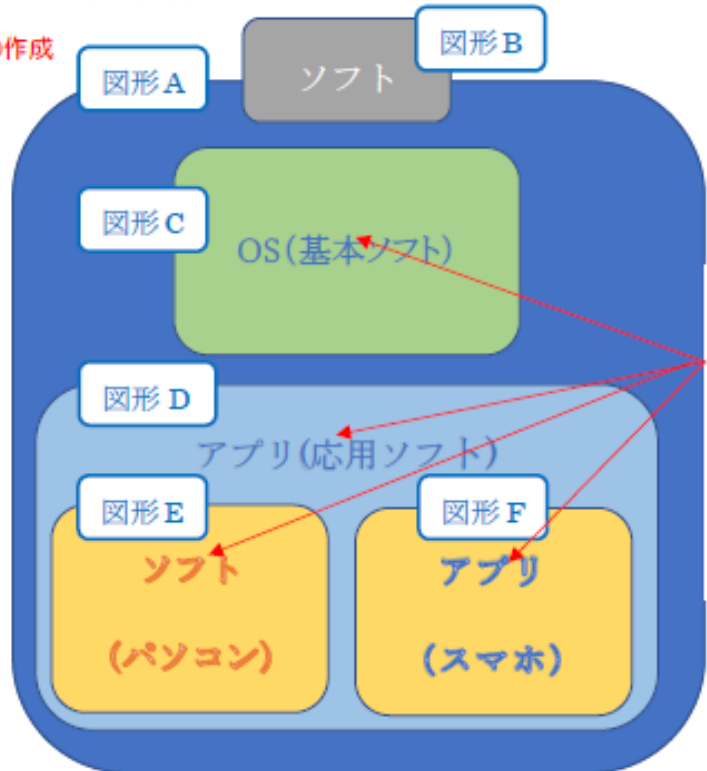
② フォント・サイズ変更
③ この範囲を央揃え

④

箇条書き

- Windows などの「基本ソフト」、Office などの「応用ソフト」、どちらも「ソフト」なのです。
- 「アプリ」というのは、「アプリケーション（応用）ソフト」のことで、パソコンでは以前から「ソフト」と言われていたりしますが、スマホで「アプリ」と言われているのがこれです。
- Windows パソコンでは、しっかり「アプリ」と表現されています。

⑥ 図形の作成



⑤ インデントを設定

OS (基本ソフト)

Windows MacOS
iOS アンドロイド

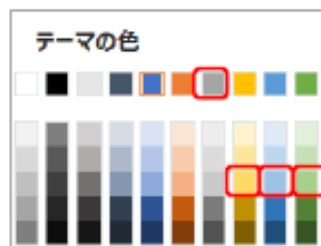
ソフト (パソコン)

Office ソフト
ウイルスソフト
年賀状ソフト
写真編集ソフト etc

IE
Edge
Google Chrome

アプリ (スマホのホーム画面のアイコン)

Google
LINE
カメラ
カレンダー
ゲーム etc



図形	高さ	幅
図形 A	100	100
図形 B	15	30
図形 C	30	50
図形 D	50	90
図形 E	30	40
図形 F	30	40

文字に効果をつける

文字に効果をつける

今さらのパソコン小話

ソフトとアプリは違う？

ソフト=ソフトウェア

基本ソフト=OS（オペレーションシステム）

応用ソフト=アプリ=アプリケーションソフト

※アプリケーション=応用

- Windowsなどの「基本ソフト」、Officeなどの「応用ソフト」、どちらも「ソフト」なのです。
- 「アプリ」というのは、「アプリケーション（応用）ソフト」のことで、パソコンでは以前から「ソフト」と言われていたりしますが、スマホでは「アプリ」と言われているのがこれです。
- Windowsパソコンでは、しっかり「アプリ」と表現されています。

OS（基本ソフト）

Windows MacOS
iOS アンドロイド

ソフト（パソコン）

Office ソフト
ウイルスソフト
年賀状ソフト
写真編集ソフト etc

IE
Edge
Google Chrome



アプリ（スマホのホーム画面のアイコン）

Google
LINE
カメラ
カレンダー
ゲーム etc